

職員の事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年3月16日

事業所名 こども発達支援室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	1	・活動内容によって机の数や移動場所等の環境設定を行っている。また、スペースに合わせた活動や課題を考えている。
	② 職員の配置数は適切であるか	4		・国で定められた基準に沿って、適切な職員数を配置している。 ・グループの利用人数に合わせて職員を配置している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4		・子どもたちに分かりやすいよう視覚的に提示したり、活動に応じてパーテーションで空間を仕切るなどの環境設定や構造化をしている。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	4		・教室終了後には必ず清掃・消毒・換気を行っている。 ・活動内容に合わせた環境設定を行い、鬼ごっこなどの活動では安全を確保できるよう努めている。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	4		・業務に支障が生じた際には、職員間で話し合い、改善策を検討している。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向などを把握し、業務改善につなげているか	4		・日々の教室や評価表などを通し、保護者からご意見をいただき、改善に努めている。今後も意見などを十分に把握し、対応していきたい。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		・ホームページにて公開している。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	・第三者による外部評価は行っていないが、必要に応じて検討していきたい。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		・コロナ禍のため、オンライン研修が中心であったができるだけ参加した。今後も積極的に参加し、職員の資質向上を図りたい。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		・アセスメントを行い、お子さんと保護者のニーズをもとに、児童発達支援計画を年2回作成し、その都度評価している。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	・フォーマルアセスメントツールは使用していない。面談時は事業所で作成したアセスメントツールを使用している。
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		・子ども一人ひとりの支援に必要な項目「発達支援」「家族支援」「地域支援」をお子さんの状況や発達段階に合わせて設定している。
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		・支援目標が達成できるよう、児童発達支援計画に沿った支援を心掛けている。
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		・チーム全体で、お子さんが興味・関心を持てるような活動プログラムを設定している。
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		・グループに合わせて課題を設定し、固定化しないようプログラムを考えている。
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4		・個別活動(机上の課題)と集団活動の両方を取り入れ、一人ひとりに合った支援を行っている。児童発達支援計画にも盛り込んでいる。
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4		・教室開始前のミーティングにて活動のシミュレーションを行っている。また支援内容や役割分担を全員で確認し、共通認識のもと支援を行っている。
	⑱ 支援終了後には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		・教室終了後には、カンファレンスノートを使用し、その日に行われた教室の振り返りを行っている。反省点や改善する箇所などを共有し、より良い支援ができるよう努めている。 ・教室前日や当日にはカンファレンスノートを見直し、対応などを確認している。
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		・個人記録を作成し、次の教室の支援に活かすことができるようにしている。
⑳ 定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		・年に2回、児童発達支援計画の見直しを行い、保護者に説明している。	
関	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		・児童発達支援管理責任者や担当職員が会議に参加している。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4		・必要なケースによっては関係機関と連携し、支援を行っている。
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関と連携した支援を行なっているか		4	・現在該当する児はいない。必要に応じて関係機関との連携体制を整えていきたい。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか		4	・現在該当する児はいない。必要に応じて関係機関との連携体制を整えていきたい。
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報提供と相互理解を図っているか		4	・保護者から希望があった場合は、保護者同意のもと情報共有し、相互理解を図っている。
	②6	移行支援として小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		4	・保護者から希望があった場合は、保護者同意のもと情報共有し、相互理解を図っている。
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		4	・当事業所の専門職と連携し、助言を受けている。 ・事業所内の研修や学習会に参加している。
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	・利用児は保育所やこども園、幼稚園に在籍しているため、事業所としては行っていない。
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加しているか		4	・管理者と相談支援専門員が中心に参加している。
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		4	・教室後にお子さんの様子について保護者と一緒に振り返り、課題や今後の支援方法について確認している。 ・電話やメール相談も受けている。
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行なっているか		3	1
保護者への説明責任等	③2	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		4	・契約時に分かりやすく丁寧な説明を行うよう努めている。
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」びねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか		4	・児童発達支援計画を作成し、直接保護者に説明し同意を得ている。
	③4	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか		4	・随時、相談がある保護者に対し、助言や支援を行っている。メールや電話でも相談対応を行っている。
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		4	・父母の会等の保護者会は開催していない。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		4	・保護者の方からの相談の申し入れがあった場合には、迅速に個別面談日を設定したり、電話やメールにて対応している。
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		4	・事業所の評価についてはホームページに掲載している。 ・会報などは作成していないが、活動内容や活動のねらいを記載した用紙を掲示している。必要な保護者にはコピーを渡している。
	③8	個人情報の取り扱いに十分注意しているか		4	・取り扱いには十分注意している。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		4	・視覚的支援ツールを使用することで意思の疎通を図ることができるようにしている。また重要なことは分かりやすく書面にして渡すようにしている。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	・必要に応じて検討していきたい。
	非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		4
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		4	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		4	・アセスメント等で確認し、対応している。服薬や既往歴については確認しているが、予防接種については確認していない。
④4		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		4	・保護者とのアセスメントの中で情報共有を行い、対応している。
④5		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		4	・活動中にヒヤリハットの事案が生じた場合は、報告書を作成し事業所内で共有している
④6		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		4	・事業所内の学習会に参加している。他職員が参加した研修の復命書などをもとにチーム全体が周知できるよう努めている。
④7		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		4	・契約時、保護者に身体拘束についての説明を行い、書面にて同意を得ている。また児童発達支援計画にも記載している。